

9

決 行 後 回 覽 部 長	臣	大	長	總	名 件	名 宛	番 號	發 送		
					部 隊 名 等 調 査 の 件 回 答	法 務 調 査 部 長	資 料 整 理 第 三 口 號	昭 和 23 年 6 月 25 日		
				長 次 級 高					月 發 日 送	起 案 完 了
		官	次							月 日 時 分
			長 次 級 次 (監 總 站 兵)	部 主 長 任					課 總 長 務	審 案 決 裁 完 了
決 行 後 回 覽 課 長	長 (局)	部 帶 連	部 主 長 任	課 主 長 任	課 總 長 務	者 信 發	時	總 務 課 受 付	月 日 時 分	
		長 課 帶 連	課 主 長 任	主 任 者	主 任 者	者 發 印 送	時	課 長 決 裁 完 了	月 日 時 分	
								印 刷 完 了	月 日 時 分	
								發 送 準 備 完 了	月 日 時 分	
									月 日 時 分	

資
料
整
理
部

0076

資整麻第三〇號

部隊名等調査の件同符

昭和二十三年六月二十五日

資料整理部長

法務調査部長殿

六月十一日一復法調第七八九號に依り照會ありたる首題の件別紙の通り同符する

陸軍

東京小洋納

0078

中部太平洋諸島に於て海軍中將小林マサシの指揮下に在つた陸軍部隊名数各部隊毎の人員概数

(部隊名)

(人員概数)

南洋第三守備隊

六〇三〇

獨立混成第五聯隊の歩兵一大隊並幹

約七〇〇

戦車第十六聯隊 (第二中隊、整備中隊一部欠)

二七六

甲支隊 (歩兵第百七聯隊、山砲一大隊、工兵一中隊)

約 四二〇〇

南洋第一支隊

六一九九

南洋第二支隊

一九〇三

南洋第三支隊

約 二一〇〇

南洋第四支隊

七一九

南洋第五支隊

六二五四

第五十二師團 (師團司令部、歩兵第六十九、第百五聯隊)

六一一八

海上機動第一旅團

五、四八四

一九四四年二月十八日より終戦迄右に於て海軍中將原テニウイチの指揮下に在つた師団部隊名並各部隊毎の人員概数

(人員概数)

南海第三守備隊

(配属部隊共一九四四年五月
獨立混成第三聯隊に改編)

約二七〇〇

甲支隊主力(歩兵第七聯隊(第二大隊等欠))

(山砲一大隊)
工兵一中隊

約三〇〇〇

南洋第一支隊

二一九九

南洋第二支隊

二九〇三

海上機動第一旅團の一小部隊

約一五〇

(備考)

人員数は編制定員及残存資料を基準として算定し現地派遺當時の概数を示したるものにして作戦の推移に伴ふ減耗は不明なり。

一 中部太平洋諸島に於て海軍中將小林マサシの指揮下に在った陸軍部隊名並各部隊毎の人員概数

(部隊名)

(人員概数)

南海第三守備隊

一、〇三四

独立混成第五聯隊の歩兵一大隊基幹

約七〇〇

戦車第十六聯隊(歩兵隊、整備中隊一部欠)

二七六

甲支隊(歩兵第七聯隊、山砲天隊、工兵甲隊)

約四、二〇〇

南洋第一支隊

一、一九九

南洋第二支隊

一、九〇三

南洋第三支隊

約三、一〇〇

南洋第四支隊

七一九

南洋第五支隊

一、二五四

第五十二師團(師團司令部、歩兵第六十九、七十五聯隊)

六、一一八

海上機動第一旅團

五、四八四

二 一九四四年二月十八日より終戦迄右に於て海軍中將原チユイチの指揮下に在った陸軍部隊名並各部隊毎の人員概数

(人員概数)

南海第三守備隊(配属部隊共、一九四四年五月、独立混成第五十二聯隊に改編)

約一、七〇〇

甲支隊(歩兵第七聯隊、山砲天隊、工兵甲隊)

約三、〇〇〇

南洋第一支隊

一、一九九

南洋第二支隊

一、九〇三

海上機動第一旅團の一小部隊

約一五〇

(備考)

人員数は編制定員及残存資料を基幹として算定し現地派遣当時の概数を示したるものにして作戦の推移に伴ふ

減耗は不明なり。

(高橋久見堂納)

